

平成30年11月4日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多フェニックス 対 奈多サンデーズ戦

4打数4安打、3HR、1二塁打、2盗塁の活躍！奈多サンデーズ古賀風太選手。

写真：三苦フレンズ 肥喜 里一征

青松園B 二回の猛攻が決定的となり、ライナーズが勝利！

ブルーマーリンズ (11敗1分) 00103 4 横山(祥)●、末松—横山(健)

雁ノ巣ライナーズ (6勝4敗2分) 01361X 20 有馬○—明瀬(航)

HR：明瀬(旭)、中口(雁の巣) 2BH：宇野、中野、明瀬(旭)(雁の巣)

盗塁：児玉2、末松(ブルー)、明瀬(旭)2、久保田(雁の巣)

秋晴れでひんやりとした空気の中、試合は始まった。雁の巣ライナーズの先発は有馬投手、ブルーマーリンズの先発は横山(祥)投手。一回表、ブルーマーリンズの攻撃は先頭打者児玉選手が四球で出塁すると、盗塁とWPで二死三塁とする。ここで四番横山(健)選手はセンターライナーとなり、得点することができなかった。一回裏、ライナーズの攻撃は二番山本選手がセーフティバントで出塁するがこちらも後が続かず、得点できなかった。両ピッチャーとも寒いせいか初回は球が定まらない感じだった。二回裏、ライナーズの攻撃は五番久保田選手がライト前ヒットを放つ。ここから横山(祥)投手が苦しむこととなった。手がかじかむせいか球が思い通りに行かず、四球を与え続けてしまった。打者一巡し、明瀬(旭)選手のHRもあり、この回ライナーズは13得点を上げた。しかし、三回表、マーリンズは反撃を見せる。一番児玉選手がセンター前ヒットを放つと続く二番末松選手もレフト前ヒットを放ち、盗塁もあって無死二三塁とすると三番井上(広)選手の二塁ゴロの間に1点が入る。三回裏からブルーマーリンズはそれまで三塁を守っていた末松選手がマウンドに上がる。しかし、ライナーズは攻撃の手を緩めない。先頭中口選手が右中間へのHRを放ち1点を追加。宇野選手がレフトへ高々と上げたボールはレフト頭上を越え二塁打となり、続く久保田選手もセンター前に弾き返し、更に1点を追加。エラーも重なり、九

番代打中野選手と一番明瀬(旭)選手の連続2BHを放ち、この回6得点を上げる。そして、五回表、ブルーマーリンズの攻撃は九番矢野選手がショートへの内野安打で出塁すると、一番児玉選手がショート後ろへのヒット、続く二番末松選手もセンター前に弾き返し無死満塁となる。死球と内野ゴロの間に2点が入ると六番小柳選手が執念のレフト前ヒットで3点目が入る。しかし、ブルーマーリンズの攻撃もここまで、ゲームセットとなった。時期的に寒い中、投手はコントロールを制するのが難しいと感じられた。その中で頑張った両チームの投手、本当にお疲れ様でした！(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：福井 和夫)



雁の巣ライナース先発の有馬投手。



ブルーマーリンズ先発横山(祥)投手。



二回裏、ライト前ヒットを放つライナース久保田選手。



二回裏、ホームインするライナース明瀬(航)選手



二回裏、レフトへのHR！ライナース明瀬(旭)選手。



三回表、レフト前ヒットを放つ、Bマーリンズ二番末松選手。



三回表、キッチリとランナーを返す、井上(広)選手。



三回表、ヒットを狙うマーリンス四番横山(健)選手。



三回裏、マウンドに上がった、マーリンス末松投手。



三回裏、右中間へのHR！ライナース三番中口選手。



三回裏、三塁への盗塁を決めるライナース明瀬(旭)選手。



試合終了後、プレイをねぎらう 両チーム。

青松園A 3盗塁阻止と9奪三振完投のバッテリー貢献によりウインズが勝利！

レッドサンデーズ (4勝7敗1分) 000030 3 古賀●、塚本一八島

新町ウインズ (7勝5敗) 00410× 5 藤田○ー今林、吉浦

HR：鳴村(レッド)泉(太)(新町ウ)、2BH：安藤(一)(新町ウ)

盗塁：増田、木寺(レッド)今林、桐島、泉(太)、安藤(一)2(新町ウ)

初回レッドサンデーズの攻撃は、藤田投手の立ち上がりを攻めきれずあっけなく三者凡退。反対に新町ウインズは二死二三塁とチャンスを掴み、五番藤田選手のセンターへ抜けるかと思われたライナーをレッド川原(正)選手が横っ跳びのファインプレーで失点を防いだ。試合が動いたのは三回裏、ウインズは一番から始まる好打順。

一番泉選手が四球で出塁するとすかさずスチール。二番安藤(歩)選手のライトオーバーのタイムリー二塁打で先制。続く今林選手、永淵選手、山口選手にもタイムリーが出て、この回一挙4点を奪った。また四回裏にも泉選手のソロHRで1点を追加し点差を開いた。しかし五回表レッドサンデーズは、五番増田選手のヒットと木寺選手の四球、スチールを絡めて一死二三塁のチャンスに七番嶋村選手が左中間へ大きな3ランを放ち反撃の狼煙を上げる。続く八島選手もバント内野安打で出塁したが、ここで藤田投手がギアを一つ上げ、後続を三振とピッチャーゴロに仕留め逆転を許さなかった。振り返ってみると、一回から四回までに6奪三振、ヒットや四球で出塁されても、要所で盗塁を3つ阻止するなど、12人で片づけている所にウインズの強さがあったと思う。最終回にもレッドの先頭打者を四球で出塁したが、またもや変わった吉浦選手が盗塁を阻止し、レッドにチャンスを与えなかった。(記事・写真：三笥フレンズ 肥喜里 一征)



9奪三振完投のウインズ藤田投手。



レッドサンデーズ先発古賀開投手。



盗塁を許さないウインズ今林捕手。



今林捕手からの完璧な送球でアウトを奪った。



二回裏、落ち着いてフライを処理した稲又一塁手。



本日2安打と活躍のウインズ今林選手。



四回裏、軽快な守備を見せる川原（正）遊撃手。



四回裏、完璧にとらえる泉太一選手。



四回裏、左中間へHRを放つ泉選手。



五回表、追い上げの3ラン放ったレッド嶋村選手。



五回表、バント内野安打で続いた八島選手。



六回表、ウインズバッテリーが勝利盗塁阻止。

奈多グラウンド 乱打戦？

奈多フェニックス (6勝6敗) 00453 12

奈多サンデーズ (6勝5敗1分) 11585× 29

HR: 古賀3、砂場、野々下、宮口(奈多サ) 3BH: 江口、佐護(奈多サ)、今林(英)(奈多フ)

2BH: 古賀、砂場、野々下2、宮口2、田中2、野田(奈多サ)、今林(英)、福島(奈多フ)

今林(心)●、今林(孝)ー今林(誠)

砂場○、古賀ー野々下

11月4日の奈多グラウンドの試合は晴天、初冬の澄んだ空気の中で始まった。20代のゼロ、9人での試合となったフェニックスは、先発に今林（心）投手をたてるが制球が定まらない。先頭の古賀選手に四球を与えるで一死を取るも盗塁と四球で一三塁のピンチを迎える。するとここからサンデーズ打線が爆発。四番野々下選手から二塁打、遊撃内野安打、失策、二塁打、三塁打、遊撃内野安打と6者連続出塁し、この回二度目の打席となった一番古賀選手が右越え本塁打を放つ。更に二番砂場選手が中前安打、三番江口選手が中越三塁打で続き、なんと初回到11点の大量リードを奪ってしまった。サンデーズは続く二回にも、この回先頭の六番宮口選手が二塁打を放つなど勢いが止まらず、ついにはこの試合3打席目の古賀選手が2本目の本塁打を放つ等、再び打線が爆発した。たまたまフェニックスは今林（孝）投手へ交代して凌いだ、二回裏終了時で大量16点のリードを与えてしまった。投手交代で相手の攻撃をしのいだフェニックスは三回表、2安打に四球と失策を絡めて4点を返し、かすかな反撃ムードが漂い始める。しかし今日のサンデーズは猛打が止まらない。三回裏は砂場選手の本塁打を含む、打者13人で8点を追加し、フェニックスを突き放す。更に四回表から古賀投手を投入し、簡単に二死を取る。が、あきらめないフェニックスは失策をきっかけに二番福島選手、三番今林（英）選手の連続二塁打と四番安藤選手の安打等で一気に5点を返し、あきらめない姿勢を示す。ただ止まらないサンデーズ打線は、四回裏に先頭古賀選手がこの日3本目となる本塁打を放つと、四番野々下選手、六番宮口選手にも本塁打が飛び出し、更に5点を追加した。いよいよ8時15分が差し迫った五回の表、少しでも反撃したいフェニックスの攻撃は簡単に二死を取られるが、一番高原選手が安打でつなぐと、死球を挟んで三番今林（英）選手が三塁打を放ち3点を返して意地を見せる。しかし、さすがの乱打戦もここまで。20代4人で6本塁打、29点を奪ったサンデーズが、12点のフェニックスに打ち勝った。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：小金丸 賢二）



奈多サンデーズ先発、砂場投手。



フェニックス先発、今林心一投手。



一回表、サンデーズ古賀風太選手、一本目のHR。



二回表、サンデーズ古賀風太選手、二本目のHR。



続々とホームに戻るサンデーズ選手。



取ってま(せん)。



二回裏、リリーフのフェニックス今林孝投手。



四回表、サンデーズリリーフの古賀風太投手。



四回表、反撃の二塁打を放つフェニックス福島選手。



反撃の二塁打Ⅱ、今林(英)選手。



二人で4本塁打、3二塁打と大活躍の野々下、古賀選手。



フェニックスバッテリー、お疲れ様でした。

第24週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第24週、11月4日は3試合が行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対雁の巣ライナース戦は、二回裏にライナースが一番明瀬旭選手のHRを含む4安打8四球で13点を奪うと、三回裏にも三番中口選手がHRで口火を切り6得点。一方ブルーマーリンズも7安打するも4点に抑えられ、最終的に4-20でライナースの圧勝。ブルーマーリンズは毎年ながら投手力UPが鍵ですね。

青松園Aのレッドサンデーズ対新町ウインズ戦は、久しぶりの先発を任されたレッド古賀開投手が踏ん張りを見せるもウインズ二番安藤一歩樹選手に豪快にライトの頭を越され先制を許すと、続けざまに三連打を浴び4失点。四回裏にも泉太一選手に上がりきれないライズボールを左中間に運ばれ失点。レッドは今季初出場の嶋村選手が3ランを放ち勢いをつけるも、3-5でウインズが逃げ切った。レッドの3盗塁をことごとく防いだウインズの今林、吉浦両捕手の活躍はさながら日本シリーズのホークス捕手陣を髣髴させた。

奈多グラウンドの奈多フェニックス対奈多サンデーズ戦は、エースを各フェニックスは今林心一投手が先発。しかしサンデー時は初回から7安打を集め11点を先制すると、コンスタントに毎回得点を重ね、4インングで29得点を挙げた。一方フェニックスの打撃は好調で、三回~五回で12得点を挙げたが、初回の失点が尾を引いた。12-29で勝利したサンデーズではあるが終盤の失点は見過ごせない。サンデーズ古賀風太選手は4打数4安打3HR1二塁打の8打点の大活躍。

11月10日の運営委員会で、昨年に引き続き3地区対抗ソフトボール大会の日程が、平成30年度閉幕式の日程と共に発表されました。

日時：平成30年12月9日（日）

時間：8:00 開会式 8:15PB 役員集合 7:30

場所：奈多グラウンド

チーム：3チーム

【奈多】 雁の巣ライナース 奈多クラブ レッドサンデーズ 奈多フェニックス 奈多サンデーズ

【和白】 新町ウインズ 三友クラブ 和白新町パイレーツ 塩浜ジャガーズ ソルトベイスターズ

【三苦】 三苦ホーネッツ 三苦三球会 ブルーマーリンズ 三苦フレンズ

各地区上記の区域分けで選抜チームを結成し3チームによる リングリーグ方式で行う。

・試合時間60分 7インング

・試合開始時間予定 第1試合 8:15

第2試合 9:30

第3試合 10:45

・コールドなし

・年齢制限等なし

・常時各地区所属の全チームのメンバーが最低1名出場していること

・組み合わせ（当日）

第1試合 ① - ②

第2試合 ③ - 第1試合敗者チーム

第3試合 ③ - 第1試合勝者チーム

②閉幕式

12月9日 15時 三苦公民館 役員は14時30分集合

納会費 25,000円当日徴収

皆さん3地区対抗と閉幕式に奮ってご参加ください。

今年も閉幕式で流す激闘映像をお楽しみに！